

令和3年度 千葉経済大学短期大学部 教員免許状更新講習 講習内容

【必修講習】 ※両日とも同内容となりますので、いずれかの日程を選択してください。

8/16(月)	【必修】 教育の動向と子ども理解の現状			
	講師	磯村 陸子(教授)、川口 陽徳(専任講師)		
8/17(火)	<p>1. 国の教育政策や世界の教育の動向、2. 教員としての子ども観、教育観等についての省察、3. 子どもの発達に関する脳科学、心理学等における最新の知見、4. 子どもの生活の変化を踏まえた課題、に関し、内容を精選して講義する。事実に基づき現況を把握し、それらの背景となっている現代社会の特徴を明るみに出し理解を深める。また、このような理解の上に、現状に対し適切かつ創造的に対応できるような方法・技能の理解を目指す。</p>			

【選択必修講習】

8/16(月)	【選択必修】 学校(幼児教育)を巡る状況変化と教育政策の動向					
	講師	中島 千恵子(教授)、上村 麻郁(准教授)	認定職種	全職種	主な対象	幼稚園 教諭
<p>幼児教育に焦点を合わせ、保護者の意識・家庭教育等の学校を巡る状況変化について明らかにし、これらを踏まえて近年また近未来の教育政策の動向について、法令改正及び国の審議会の状況に関する視点から最新の情報に基づき概説する。特に、法令改正・改定についてはその精神を明らかにし、現代に生きる子どもたちが豊かに学ぶために現場の具体的対応が創造的本質的なものとなり、改正・改定が最大限の効果を発揮するものとなることを目指す。</p>						

8/17(火)	【選択必修】 教育政策の最新動向					
	講師	川口 陽徳(専任講師)、八木 陽(非常勤講師)	認定職種	全職種	主な対象	小・中・高 教諭
<p>近年また近未来の教育政策の動向について、法令改正及び国の審議会の状況および学習指導要領の改訂の動向の観点から、最新の情報に基づき概説する。学習指導要領については、まず一般論、その後で近年問題になっている学力の2極化に陥らないためにその精神をどのように解釈し実践すれば良いのか、算数科・数学科、小学校から高校までの連携を例にして考える。これらは、他の教科にも通じるものであり、現代に生きる子どもたちが豊かに学ぶために現場の具体的対応が創造的本質的なものとなることを目指すものである。</p>						

【選択講習】 ※選択講習は最大3講習まで選択可能です。

8/18(水)	【選択】 絵本の読み伝えと活用法					
	講師	横山 洋子(教授)、わたなべ めぐみ(非常勤講師)	認定職種	教諭	主な対象	幼稚園教諭
	絵本の読み伝えは、幼稚園教育において欠かすことのできない教育内容のひとつである。しかし、教師の扱い方ひとつで、楽しく充実した内容にもなれば、「つまらない絵本だった」で終わることもある。本講座では、効果的な活用法を中心に、子どもたちの学びがより一層深まるような実践のあり方を考えていく。また、童話作家によるお話作りのノウハウを伝授する。					
	【選択】 斎藤喜博に学ぶ『教える』ということ					
	講師	佐久間 勝彦(本学学長)、塚本 幸男(非常勤講師)、綿引 弘文(非常勤講師)	認定職種	教諭	主な対象	小・中・高教諭
	学習指導要領は「主体的・対話的で深い学び」は我が国の優れた教育実践が志向してきた「普遍的な視点」であると指摘する。本講座では、斎藤喜博・武田常夫らの優れた実践から何を学ぶか、貴重な動画を見て考えるとともに、講師が彼らから何を学んだかの報告を聴いて、ともに考える。					

8/19(木)	【選択】 食育の現代的課題と実践					
	講師	中島 千恵子(教授)、横山 洋子(教授)	認定職種	教諭	主な対象	幼稚園教諭
	4つのテーマで食育について現代の観点から考察する(講義)。①子どもたちの食生活の現状を捉え、健全で豊かな食生活のための食育活動を考える。その一環として、②幼児の野菜栽培、収穫の喜び体験を通して、食への関心を高める実践を考える。また、③現代の子ども食事スタイルと行動の実態を把握し、主体的に楽しく取り組める食事マナーについて考え、最後に、④大型絵本やエプロンシアター等の視覚的教材を使って楽しく子どもたちに伝える方法や、食への関心を深める遊びについて考える。					
	【選択】 アクティブ・ラーニングはアクティブ・ティーチングによって生まれる					
	講師	佐久間 勝彦(本学学長)、綿引 弘文(非常勤講師)	認定職種	教諭	主な対象	小・中・高教諭
	「学ぶ」ということなみは、本能的に能動性をはらんでいとなまれる。「知識の一方的な伝達」を超える「教える」があって、アクティブ・ラーニングに実が結ばれる。グループワークといった学習形態を導入すれば、学びの質が能動的に高まるものではない。本講習では、当今のアクティブ・ラーニングという課題に、国語・社会・総合等での具体的な事例に即し、また実際にミニ授業を体験することによって向き合い、思索を深める。					

8/20(金)	【選択】 家庭・地域における教育の支援と子ども理解					
	講師	柏木 恭典(教授)、波多野 名奈(准教授)	認定職種	教諭	主な対象	幼稚園教諭
	幼稚園の果たすべき役割として、新たに家庭及び地域における幼児期の教育支援が加えられた。この支援に係る最新の知識・理解について、4つの観点から講義する。①障害のある子どものケアの問題をバリアフリーという観点から考察し、障害とバリアフリーの関連を明らかにする。②離婚家庭の子どもに特有の問題を示し、必要な援助を具体的に考究する。③平成30年度から施行された新幼稚園教育要領における子育て支援にかかわる 変更点を確認し 、地域における幼児期の教育のセンターとしての幼稚園の役割について考察する。④保護者支援の基本原則を理解し、それに基づいた支援の具体的方法をグループワークを通じて学ぶ。					
	【選択】 子どもへの対応力を身につける体験学習					
	講師	塚本 幸男(非常勤講師)	認定職種	教諭	主な対象	小・中・高教諭
	授業の中で子どもたちの意欲を引き出し、その教材の中心を逸れずその時間のめあてを達成するためには、子どもの疑問・考え・つぶやき・意見への「対応力」が必要となる。この「対応力」を、①「対応の理論」と②「演習」を通して身につける。そのための(1)教材解釈の仕方、(2)問いと発問の展開方法、(3)子どもたち意見への解釈力、(4)授業展開の構想、(5)子ども開放場所、といった授業を構成していく要素について考えを深め、授業への「対応力」を身につける。					